



ふるさとの自然 (54)

家族で助け合って暮らす アシナガバチ

○巣を守る母蜂

人間を刺すこともあるアシナガバチは嫌われ者の昆虫ですが、毛虫などを食べてくれる益虫でもあります。

春、冬を越した母蜂が一匹で巣作りを始めます。部屋ができると卵を産み、かえった幼虫の世話をします。ここで生まれた子どもは全て雌。娘蜂は働き蜂となって母蜂を助け、巣を大きくして家族を増やします。

幼虫の餌は毛虫や花の蜜です。毛虫を見つけると肉団子にして巣に運び、口移しで幼虫に食べさせます。暑い日には水を運んで巣に塗り付け、羽ばたいて風を送って冷やします。

○子孫を残すための本能

夏の終わりごろになると雄蜂と、働き蜂にならない雌蜂が生まれます。しかし、雄蜂は働き蜂に世話をしてもらうばかりで全く働きません。このころ母蜂は死んでしまいます。やがて、雄蜂と働き蜂にならない雌蜂は交尾をします。その後雄蜂と働き蜂は全て死んでしまいます。そして交尾した雌蜂だけが冬を越し、翌年母蜂になってまた新しい生活が始まります。

(旭市文化財審議会委員 齊藤敏一)

イキイキ あさひっ子



こうた
倅太くん
平成25年7月19日生
両親＝加藤卓さん
祐美さん(三川)

いつもニコニコしている僕。とても甘えん坊でいたずら大好き♡

ゆいと
結都くん
平成25年7月7日生
両親＝田村剛志さん
宏美さん(琴田)

お出掛け大好き！毎日笑顔でいっぱい遊んでいるよ



らいむ
来夢くん
平成25年4月7日生
両親＝並木寿広さん
幸子さん(川口)

元気いっぱい。一人で乗れたよ。誰か押してー



“イキイキあさひっ子”を大募集

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595 旭市二の1920・☎62-8070)へ。

対象は小学校入学前の幼児です。申込用紙は旭市保健センター、飯岡保健センター、つどいの広場ハニカム、子育て支援課、秘書広報課、各支所にあります。

編集こぼれ話

今号は夏のイベントの写真がいっぱい。たくさんの笑顔に出会いました。出会いと言えば数年前に、テレビの収録で顔見知りになった若い夫婦がいます。以来気付くと向こうから声を掛けてくれ、この夏も海岸での取材中「大変ですね。いい写真撮れました」と。交わす言葉は少ないですが、いつも笑顔で元気をもらいます。ちなみにうちの家族も声を掛けてくれますが、様子が違います。先日はすれ違いざまに「頑張っている写真撮れよな」と肩をポン……。なんで上から目線なんだ？(Y)

くらしのカレンダー

5日(金) 2014世界ジュニア卓球選手権大会男子日本代表選手選考会(～7日(日) 総合体育館)

15日(月) 敬老の日、旭市敬老大会

23日(火) 秋分の日

28日(日) 第9回あさひのまつり(午後1時～ 東総文化会館)